

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●西村淳也騎手が通算100勝、松山弘平騎手は通算700勝を達成

7月11日(土)の4回阪神3日・第11レースとして行われたマレーシアCではタガノアスワドが1着となり、同馬に騎乗した西村淳也騎手(栗東・フリー)は、現役95人目となるJRA通算100勝(1464戦目)を達成しました。翌12日(日)の4回阪神4日・第6レースではテイエムマジックが1着となり、同馬に騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、史上64人目、現役では30人目となるJRA通算700勝(8976戦目)を達成しました。

●池添謙一騎手がJRA通算1万3000回騎乗を達成

7月12日(日)の2回函館4日・第5レースでギャラントウォリアに騎乗した池添謙一騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上21人目、現役では15人目となるJRA通算1万3000回騎乗を達成しました。

●C.ルメール騎手がJRA年間100勝を達成

7月12日(日)の2回函館4日・第11レースとして行われたデルマーサラブレッドクラブ賞マリンSではタイムフライヤーが1着となり、同馬に騎乗したクリストフルメール騎手(栗東・フリー)は、6年連続6回目となるJRA年間100勝を達成しました。7月12日でのJRA年間100勝到達は、自身最速の記録となります。

●池江泰寿調教師と中館英二調教師が節目の勝利を達成

7月11日(土)の4回阪神3日・第5レースではダノンシュネラが1着となり、同馬を管理する池江泰寿調教師(栗東)は、史上54人目、現役では9人目となるJRA通算700勝(延べ4606頭目)を達成しました。同日の2回福島3日・第6レースではブルーパードが1着となり、同馬を管理する中館英二調教師(美浦)は、現役150人目となるJRA通算100勝(延べ1334頭目)を達成しました。

●小手川準調教師がJRA初勝利をあげる

7月12日(日)の2回函館4日・第8レースではミニオンペールが1着となり、同馬を管理する小手川準調教師(美浦)は、JRA初勝利をあげました。今年3月の開業から数えて延べ70頭目での初勝利となります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ファッションスタがスパーキングレディーC(川崎)を連覇

スパーキングレディーC(JpnⅢ、7月15日、川崎、1600m)は、2番手を追走したファッションスタ(川田将雅騎手、牝6歳、父ストリートセンス)が残り100mを切った辺りで抜け出し、単勝1.9倍の支持に応えました。3/4馬身差の2着に2番人気のメイクハッピーが入り、メモリーコウは4着、ワンダーアマービレは5着でした。

●シンボが横津岳特別に優勝、地方馬のJRA勝利は2年ぶり

横津岳特別(2勝クラス、7月12日、函館、芝2600m)に出走、10番人気だった北海道所属馬シンボ(牡3歳、父ベーカーバド)が逃げ切り勝ちを収めました。地方在籍馬のJRAでの勝利は、2018年8月のSTV賞(札幌)のハッピーグリーン(当時北海道所属)以来です。

●帯広、盛岡で競馬場への観客の入場を再開

地方競馬では、新型コロナウイルスの影響で、2月下旬から全ての競馬場で無観客開催を実施していましたが、ばんえいの帯広競馬場では7月11日から、岩手県の盛岡競馬場では7月12日から、感染拡大防止対策を講じたうえで、観客の入場を再開しました。

●デルマルーヴルらが参戦、7月21日のマーキュリーC(盛岡)

マーキュリーC(JpnⅢ、7月21日、盛岡、2000m)は、5か月ぶりの出走で57%でもデルマルーヴルが中心、以下ヒストリーメイカー、マスターフェンサー、アポロテネシー、ランガディア(岩手)、リンノレジェンド(北海道)、ヨシオの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ジュライC~オクステッドがG1初制覇

7月11日にイギリスのニューマーケット競馬場で行われたG1ジュライC(3歳上、芝1200m)はオクステッド(騾4歳、父メイソン)が先行策から残り400m付近で先頭に立って優勝。重賞初制覇となった6月のG3アバーナントS(芝1200m)からの連勝でG1初制覇を果たしました。鞍上のC.ファロン騎手、管理するR.ティール調教師はともにG1初制覇です。なお、C.ファロン騎手(21歳)は英チャンピオンジョッキーに6度も輝いたK.ファロン元騎手の息子で、昨年の英見習い騎手チャンピオンです。

●G1ジャンブラ賞~ピナツボが復活の勝利

7月12日にフランスのドーヴィル競馬場で行われたG1ジャンブラ賞(3歳牡牝、芝1400m)はイギリスから遠征したピナツボ(牡、父シャーマダル、C.アップルビー厩舎)がW.ビュイック騎手を背に後方から差し切って優勝しました。ピナツボは昨年G1デューハーストSとG1愛ナショナルS(ともに芝1400m)を含む6戦6勝で欧州最優秀2歳牡馬に選出。しかし今年はG1英2000ギニー3着、G1セントジェームズパレスS2着と連敗していました。なお、この日の開催は政府からの許可が下りたことから、最大5000人、マスク着用などの制限つきながら有観客で行われました。